

災害救助ロボット

～夢の実現に向けて～

話題提供者 徳田 献一 (システム工学部 講師)

多くの科学空想小説の中で描かれた 21 世紀は、人を助け社会に役立つロボットがたくさん登場する夢の世界でした。

大きな自然災害に対して、ロボット技術で立ち向かいたい。そんな思いから、レスキューロボットと呼ばれる災害現場で働くロボットの研究開発が進められています。

研究者達の救助ロボット実現に向けた取り組みを通して、夢の技術実現のための課題を一緒に考えたいと思います。

参加無料
申込不要

日時

2017年 9月20日 水 19:00～20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ

和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2 F

Tel & Fax : 072-433-0875

【E-mail】 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分

駐車場有 (終日無料)



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話します。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

今後の開催予定

回	日時	テーマ（予定）	話題提供者（敬称略）
96	10月18日（水）	調整中（決まり次第ホームページにアップします）	調整中

※2月はお休みです。

第93回「場所と住まい

～紀の国住宅プロジェクトで考えていること～のアンケートより

- ◇ 日本の昔ながらの住宅が素晴らしいと思っていましたが、不便な部分も多いと思っていました。
日本の住宅の素晴らしい部分も活かし、現状・土地の形状に合わせて建てられているのがよいと思いました。
(20代・女性)
- ◇ 将来、家を建てることがあれば、庭からの自然光が入り、風が通る家に住みたいと実感しました。
紀の国住宅さんと作る家が出来たら是非見に行きたいなと思います。(20代・女性)
- ◇ これから家を建てる機会は人生であと1回あるかないかですが、少なくとも「買う」のではなく「建てたい」と思いました。(40代・男性)
- ◇ もう自分の家を建てることはないですが、一度は見晴らしが良く、明るい風通しのよい家に住んでみたいです。
(60代・女性)
- ◇ こんなにわかりやすい内容！数年前、自宅を建てる前にお聞きしたかった。(70代・女性)
- ◇ 地産地消の建材を使用する話は興味を持ちました。(70代・男性)

🔊) わだい浪切サロン参加者の声

- ・ **大学の授業を体験**できたみたいでとても良かった。(10代・女性)
- ・ すごくわかりやすく、**今の自分が知りたいテーマ**だった。(30代・女性)
- ・ **質疑応答の時間**があるのが良い。(60代・男性)

和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

【Tel&Fax】072-433-0875

【URL】<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>

🔍 岸和田サテライト

検索 🔍

